資料3-2 脳卒中 ロジックモデル (2020年8月29日修正版) C初期アウトカム C初期アウトカム指標 B中間アウトカム B中間アウトカム指標 A分野アウトカム A分野アウトカム指標 C個別施策アウトプット 102禁煙外来を行っている医療機関数 103ニコチン依存管理料を算定する患者数 C104ハイリスク飲酒者の割合 基礎疾患および危険因子の管理ができて -:105健診受診率 いる。 106高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率 107脂質異常症患者の年齢調整外来受療率 108特定健診受診者のうちメタボリックシンドロー 該当者数・予備群者数 初期症状出現時における適切な対応につ 【予防】 101脳血管疾患により救急搬送された患者数 いて本人および家族等が理解し実践でき C201初期症状と適切な対応について知っている住民数 脳卒中の発症を予防できている 102脳血管疾患の受療率(入院・外来) 突然の症状出現時に、急性期医療を担う 医療機関への受診勧奨指示ができてい 301神経・脳血管領域の一次診療を行う医療機関数 特定健診・特定保健指導を受けることが 401特定保健指導対象者数・修了者数 できている。 本人および家族等が発症後速やかに救急 501発症後速やかに救急搬送要請できた件数 救急救命士が、地域のメディカルコント 101脳血管疾患の年齢調整死亡率 【救護】 脳卒中による死亡が減少して ロール協議会が定めた活動プロトコール 102脳卒中標準化死亡比(脳出血・脳梗塞・全 201救急要請(覚知)から医療機関への収容までに要 患者ができるだけ早期に専門医療機関へ搬 601救急隊の救急救命十運用率 に沿って適切な観察・判断・処置ができ いる 送される 103健康寿命 急性期医療を担う医療機関へ迅速に搬送 C701 脳血管疾患により救急搬送された圏域外への搬送 できる体制が整っている。 C802 脳神経外科医師数 03脳卒中の専用病室を有する病院数・病床数 脳卒中の急性期医療に対応できる体制が C804 脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施 整備されている。 301脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解法の実施件数 能な病院数 302脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収 :805 経皮的選択的脳血栓、塞栓溶解術(脳梗塞に対 療養等) の実施件数 5血栓回収術) が実施可能な病院数 3303 くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の 誤嚥性肺炎等の合併所の予防及び治療が 【急性期】 901口腔機能管理を受ける患者数 (急性期) 行える体制が整備されている。 304くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実 発症後早期に専門的な治療・リハビリテー 廃用症候群を予防し、早期に自立できる ションを受けることができる 305脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数 リハビリテーション実施体制が整備され 306脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの 307脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実施作 回復期の医療機関等との連携体制が構築 C1101脳卒中地域クリティカルバスを導入している医 療機関数 自宅退院困難者に対する医療施設や地域 1201地域のサービスとの連携窓口を設置している[の保健医療福祉サービスとの連携が強化 **春機関数** されている。 専門医療スタッフにより集中的なリハビ 1301回復期リハビリテーション病床数 リテーションが実施可能な医療機関が整 1302理学療養士数、作業療法士数、言語聴覚士数 備されている。 401脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数 再発予防の治療や基礎疾患・危険因子ん 【回復期】 402脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施作 脳血管疾患者が日常生活の場で質 4 の管理、合併症への対応が可能な体制が C1401脳卒中リハビリテーション認定看護師数 A201在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の 身体機能の早期改善のための集中的リハト の高い生活を送ることができてい 機能的自立度 403脳卒中患者における地域連携計画等の実施件数 202脳卒中を再発した者の割合 誤嚥性肺炎等の合併症の予防および治療 リテーションを受けることができる 404ADL改善率 1501回復期に口腔機能管理が実施可能な医療機関数 405在宅等生活の場に復帰した患者の割合 が行える体制が整備されている。 C1601脳卒中地域クリティカルバスを導入している 急性期および維持期の医療機関や施設、 機関数数 地域の保健医療福祉サービスとの連携体 602医療ソーシャルワーカー数 制が構築されている C1701リハビリテーションが実施可能な医療機関数 生活機能の維持・向上のためのリハビリ 702訪問リハビリを提供している事業所数 テーションが提供される体制が整備され 703通所リハビリを提供している事業所数 ている.

日常生活への復帰、生活機能維持・向上の

ためのリハビリテーションを受けることが

できる

01訪問リハビリを受ける利用者数

502通所リハビリを受ける利用者数

3503脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施作

504脳卒中患者における地域連携計画作成等の実施作

再発予防の治療や基礎失禁・危険因子の

管理、合併症への対応が可能な体制が整

誤嚥性肺炎等の合併症の予防および治療

が行える体制が整備されている。 回復期および急性期の医療機関等との連

携体制が構築されている、

備されている。

C1801訪問看護を受ける患者数

901訪問歯科衛生指導を受ける患者数